

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

公表：令和 2年 8月 1日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
境・体制整	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動エリアの工夫、構造化をし、分かりやすいようにしています
	2	職員の配置数は適切である	○			利用者のニーズに対応できる体制にしています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		段差等利用者に応じた安全性の確認をしています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			支援計画に添って、ケース会議やミーティング等を行っています
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		利用者の保護者向け評価表による評価と公表を実施し、意向を把握し、改善に努めております
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している			○	令和2年度よりホームページでも評価と公表を実施しております
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	現在は利用者と事業所の評価のみとなっておりますが、今後の検討課題としてまいります。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部研修に参加したり、アドバイザーを迎え定期的に研修を設け支援の質を高めるよう努めています
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用に際しての見学・体験時に保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。外部でとった発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に活かしています
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		○		課題内容や指導の仕方について日次・月次ミーティングで話し合い、共通の目標を持って取り組むことを目指しています。日々の流れを汲みながら
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			余暇の過ごし方、ストレス発散方法、ソーシャルスキルを考慮した療育を工夫しています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			一人ひとりの発達に応じ、個別の課題と集団適応・社会性の課題を支援計画に入れていきます
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			個別のスケジュール、課題の設定、共通理解のミーティングを行っています
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			日々、プチミーティングをする時間を必ず設け、職員間での共有・振り返りをしています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			事実のみを記録の記入するようになっている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			概ね6か月に1度、見直しを行っています
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など、適任者を選んで出席します
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		同上
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在、医療的ケアの必要な方がおられませんが、可能な限り対応していきます(利用児の主治医は周知しています)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	事業所として交流活動等の実績はありません。今後検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	要請があれば参加しています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の送迎の際に子どもの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けます
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		ペアトレの保護者向研修は行っておりませんが、面談や送迎時のフィードバックの際、対応などのアドバイスを少しずつ伝えるように心がけています
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っております。また、随時不明な点は職員が説明するようにしています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		希望に応じて相談を受け付けています。また、定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	事業所として交流活動等の実績はありません。今後検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付窓口を設置していますので、お気軽にご相談ください
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	今後ホームページを活用し情報を発信いたします
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫に保管しています
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		本人が分かる伝達方法を使っています(PECS、具体物、イラスト、写真、コミック会話など)
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	事業所として交流活動等の実績はありません。今後検討します。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルについて職員会議にて対応方法等の確認を行っておりますが、周知・訓練について十分でない部分もあるため、改善に努めます。マニュアルについても必要に応じて見直していきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		職員会議の際、職員や事業所として訓練を行うようにしている。防災に関する外部研修に職員が参加していきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部の研修に職員が参加したり、職員ミーティングにて社内研修を行います
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すことにしています。また、保護者にはそれらを契約書に記載し説明しています。対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制があります
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		事前に把握し、対応しています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		いつでも記入できるように書式と場所を工夫し、そのことについて職員で周知しています